

里海づくりの一層の推進に向けた今後のスケジュール（予定）



実施内容	2024 年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
今後の里海づくりのあり方に関する提言	公表 ●			
戦略的「令和の里海づくり」基盤構築事業		提言1～3の具現化 モデル事業を改良	・保全再生創出の実現 ・利活用・連携の具体化 による持続可能な取組を創出	
里海づくりの手引きの改訂		提言1～3をサポート 公表 ●	知見投入 取組の底上げ（ボトムアップ）	
里海づくりの情報共有の場の設置		地域の取組の推進 上半期中に設置		
関係省庁・関係団体連携強化		地域の取組の推進 連携強化		
地域の里海づくりのPR等		地域の取組の推進 観光事業と連携 強化策を年度中に試行的に実施	試行実施を踏まえて一層強化	

基盤構築事業の第2チームが終了する2030年
を一旦の目標年度と設定

(参考) 里海づくりの一層の推進に向けた取組 (予定)

- 地域の里海づくりを推進するため、R7以降は一層多角的に支援をしていく。
- 支援の内容は以下を想定。なお、「今後の里海づくりのあり方検討会」にて取りまとめた「今後の里海づくりのあり方に関する提言」を踏まえ検討していく。

① 資金・技術的な支援

里海づくりモデル事業

R4から実施。保全と利活用の好循環の創出を目的に、地域と連携して好事例を創出。R7から戦略的「令和の里海づくり」基盤構築事業として実施。

多様な主体との連携

地域の里海づくりの支援者になりうる企業、団体等との連携を強化し、地域の持続可能な里海づくりを推進。

② 技術的な支援

里海づくりの手引書

H23に里海づくりの“いろは”として整理。「今後の里海づくりのあり方検討会」の議論を踏まえて、内容を充実する改訂を実施。

③ 情報共有の場の提供

里海ネットワーク (仮称)

里海づくりに取り組む者同士の知見等の情報共有が目的。また、支援者等とのマッチングの場としての機能も加える予定。

④ 認定・PR

自然共生サイト

里海づくりに取り組む地域の「自然共生サイト (生物多様性の価値が評価された場所)」認定を後押し。それにより地域の付加価値を向上。

取組の紹介

認定等により価値付けを行った場所を、環境省としてPR。地域からの発信だけでなく、環境省からもPRすることで、一層の認知向上に繋げる。